

令和5年中 火災・救助・救急事案の発生状況
()内は令和4年中

火災	救助	救急
火災件数 35件 (40件)	出場件数 57件 (47件)	出場件数 6,668件 (6,537件)
建物火災 21件 (24件)	火災 2件	急病 4,766件
林野火災 1件 (0件)	交通事故 27件	一般負傷 975件
車両火災 0件 (4件)	風水害 0件	交通事故 453件
その他 13件 (12件)	水難事故 5件	その他 474件
死者 0人 (3人)	その他 23件	

※主な出火原因～多い順～
令和5年：たき火、たばこ、不明、こんろ
令和4年：こんろ、たき火、放火、火遊び

消防・救急の現場活動にご理解とご協力を！

火災や救急現場では、安全確保などのために一帯の規制や、狭い道路に車両を停車し活動することがあります。赤色灯を点灯させた緊急車両が停車している際は、現場活動中であるご理解ください。

消防本部警防課

☎ 22-0337 ☎ 22-9427



チケット情報

ひこね市文化プラザ

5月3日(金・祝) 10:30/13:45 グランドホール
大阪桐蔭高等学校吹奏楽部 特別公演in彦根

指定 【友の会好評発売中】
【3月2日(土)9:00～一般予約開始】

一般 2,000円 高校生以下 1,000円 小学生以下500円
※3歳以上有料。3歳未満膝上鑑賞無料

数々のコンクールで金賞を総なめにしており、その確かな演奏力と存在感で全国的な人気を誇っている大阪桐蔭吹奏楽部。ひこね市文化プラザに再び帰ってきます!

5月19日(日) 14:00 エコーホール

ひこね市民大学特別講座 小学生以上 託児あり(有料・要予約)
本間朝子講演会「ゆとりを生む時短家事術」

指定 【好評発売中】 一般 500円 友の会 450円

今日から使える!毎日の家事をラクにこなしてゆとりをつくる時短術♪知的家事で「欲しかったあと1時間」を手に入れましょう!



申込・お問い合わせ先 チケットセンター ☎27-5200 (9:00～19:00)
チケットはインターネットでもご購入いただけます。https://bunpla.jp/

3月の休館日：4日(月)、11日(月)、18日(月)、25日(月)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は翌開館日から承ります。

春季火災予防運動 (3月1日(金)～同7日(木))

2023年度全国統一防火標語

「火を消して 不安を消して つなぐ未来」

住宅火災 いのちを守る 10のポイント

▶ 4つの習慣

- ①寝たばこは、絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない。
- ④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

▶ 6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う

消防本部予防課 ☎22-0332 ☎22-9427

みずほ文化センター

3月9日(土) 14:00 多目的ホール

彦根亭 みずほ寄席 Vol.52 翁室公演

自由 【好評発売中】 小学生以上 託児あり(有料・要予約)
前売:500円 当日:600円

お馴染みの松竹芸能の愉快な面々が笑いを届けます。漫才/道草ピエロ 漫談/オーパスツ 落語/笑福亭喬龍、二代目桂春之輔の4組が出演します。

3月23日(土) 14:00 多目的ホール

アンサンブルMUSEがあなたに贈る すぐきな歌の世界

自由 【好評発売中】 前売:500円 当日:600円



※小学生以下は無料(要無料チケット)
クラシックの名曲と懐かしい童謡を中心に、気軽に!身近に!素敵な!楽しい音楽を!!そんな思いを乗せてお届けします。

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00～17:00)

3月の休館日：5日(火)、12日(火)、19日(火)、21日(木)、26日(火)

◎表記の価格は全て税込価格です。
◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。
子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

彦根城博物館 ☎22-6100 ☎22-6520

https://hikone-castle-museum.jp/

開館時間 8:30～17:00 (入館は16:30まで)



彦根藩資料調査研究会

「殿様と家臣たちの日常―「側役日記」から見る井伊家10代当主直幸の政務―」

当館では「殿様の日常生活」の解明に向け、共同研究を進めています。今年度は、研究の中間総括として、井伊家10代当主直幸とその家臣に焦点をあてます。殿様の政務を誰が、どのように支えたのか、彼らの日々の仕事の実態に迫ります。

【日時】3月24日(日) 13:00～16:30
【場所】能舞台正面見所 【受講料】500円
【定員】100人 (当日先着順、受付は12:30～)
【発表者】有坂道子氏 (京都橘大学教授)
三宅正浩氏 (京都大学准教授)
渡辺恒一 (当館学芸員)

【休館日のお知らせ】3月18日(月)、同19日(火)

特別公開

3月17日(日)まで 「雛と雛道具」

井伊家13代直弼の愛娘弥千代(1846～1927)の大揃いの雛道具を、地元の旧家に伝来した古今雛などとともに一挙公開。春の訪れを告げる恒例の展示です。

特別公開

3月20日(水・祝)～4月22日(月)

「数寄と清風―井伊直亮の茶の湯と煎茶―」

井伊家12代直亮(1794～1850)は茶の湯や煎茶に造詣が深く、道具や茶書を積極的に収集し、茶室も新築しました。それらは13代直弼の茶の礎ともなっています。本展は、井伊直亮の茶に初めて焦点をあてて紹介するものです。



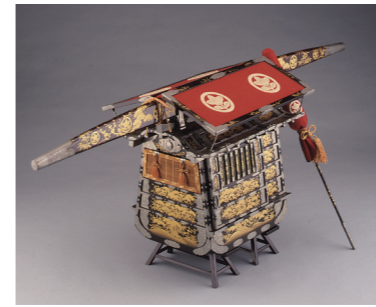
▲唐物鶴首茶入

■スライドトーク (無料・観覧料は別途必要)

【日時】3月23日(土) 14:00～(30分程度)

【講師】当館学芸員 【場所】講堂

※当日受付(先着50人、受付は13:30～)



▲弥千代の雛道具のうち駕籠

井伊家13代直弼の息女弥千代は、安政5年(1858)、高松藩松平家の世子頼聡に嫁ぎました。この婚礼に際し、豪華な婚礼調度とともに、桃の節句で飾る雛人形や雛道具が調えられました。これらの道具を収めた筆筒や長持は総勢百十二棹にも及んだと伝わり、盛大な婚礼支度の様子がかがわれます。弥千代の雛道具は婚礼調度のミニチュアで、貝桶や三棚、膳椀類など多種多様です。いずれも実物さながらの精巧な作りですが、その中でも、駕籠や写眞はとりわけ豪華で凝った作りです。荘重な印象を与える唐破風形式の屋根を備え、随所にきらびやかな飾り金具をあしらっています。駕籠外面には、金時絵の技法で井伊家の家紋の橘と松竹梅の模様を細かく埋め尽くすように表わし、内の天井と壁面には、金地に四季の花鳥を彩り豊かに描いています。まさに小さな御殿とも言える作りです。

博物館ホームページに掲載予定です。

写真の作品は、特別公開「雛と雛道具」で3月17日(日)まで展示します(期間中無休)。

【彦根城博物館学芸員 奥田 晶子】

このように、弥千代の雛道具と婚礼調度の双方を見比べつつ鑑賞すると、互いに響き合う造形美の妙が一層深く感じられるとともに、制作の意図や背景について、さらに引きせぬ興味湧き上がってきます。

また、婚礼調度の駕籠には、井伊家家紋の橘紋と松平家家紋の葵紋の両方が表されていますが、雛道具には橘紋だけです。展示の観覧者から、「嫁ぎ先が決まる前に一部の婚礼調度や雛道具を作り始めたから橘紋しか入れられなかったのでは?」と言う意見をいただいたこともありますが、残念ながら、その真相は不明です。

これに対応する実物の婚礼調度の駕籠が現存しています。これらを見比べると、形態や松竹梅の模様は大枠で共通してはいるものの、細かな違いもあります。例えば、雛道具の飾り金具は銀製ですが、婚礼調度は金で作られています。その理由は不明ですが、金には華やかさが、銀には清楚な趣があり、それぞれにふさわしい表現を追求した結果によるものと想像されます。

●人口と世帯数 (2月1日現在)
人口：111,085人 (-33)
男性：55,457人 (-23)
女性：55,628人 (-10)
世帯数：50,727世帯 (+39)
※()内は前月比

▶彦根市では、点字および音声版広報ひこね(編集版)を発行しています。

☎ 障害福祉課 ☎27-9981 ☎30-9231

▶外国語版(英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語)の広報ひこね(編集版)を発行しています。

☎ 人権政策課 ☎30-6113 ☎24-8577

▶廃棄する場合には古紙回収に出してください。

▶広報ひこねは54,950部作成し、1部当たりの単価は17円(1円未満切り捨て)です。原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

ときの玉手箱

博物館からのメッセージ

第330回